

3年 音楽 週1時間

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- みんなで音を出すことの楽しさを体験し、音や音楽に対する関心を持ち、豊かに音楽を感じ、生涯にわたって音楽に親しむ心を育む。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取って表現するための基礎となる、発声の仕方や楽器の奏法などを身に付け、創意工夫して表現する。
- 日本の心の歌や日本の伝統的な音楽、さらには世界各国の音楽に対する理解を深め、音楽の多様性のよさについて知る。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標(ねらい)
1	4	歌唱「花（滝廉太郎）」	・歌詞の内容を理解して、曲にふさわしい表現を工夫する。	・歌詞の表す情景や味わいに興味を持ち、曲にふさわしい表現について考え表現する。
	5	アルトリコーダー 「エーデルワイス」	・レガート奏法に気を付け情景を表現する。	・新しい音の運指を理解し、曲想を生かした音楽表現をする。
		鑑賞「ブルタバ」	・音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わう。	・速度、強弱、楽器の音色と音楽を形づくっている要素の関わりを理解し、根拠をもって批評する。
2	6	混声合唱	・混声四部合唱の豊かなハーモニーを仲間とともに表情豊かに作り上げる。	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	7	合唱課題曲		
	9	鑑賞「能」	・能の特徴を理解して、その魅力を味わう。	・声や楽器の音色、節回し、リズム、速度と曲想の関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽の美しさを味わっている。
3	10	混声合唱 合唱課題曲・自由曲	・混声四部合唱の豊かなハーモニーを仲間とともに表情豊かに作り上げる。	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律との関わりやパートの役割と全体の響きとの関わりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。
	11	箏「六段の調べ」	・さまざまな技法で箏の楽器の良さを感じて表現する。	・箏の音色を味わい、さまざまな技法を用いて旋律の繰り返し方や重ね方を工夫する。
	12	アルトリコーダー 「前奏を創作しよう」 「威風堂々」	・曲にあった前奏を創作してリコーダーを演奏する。	・4小節程度の短い前奏を創作し、前奏を含むリコーダーの演奏をすることができる。
1	1	鑑賞「ボレロ」	・音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わう。	・速度、強弱、楽器の音色と音楽を形づくっている要素の関わりを理解し、根拠をもって批評する。
	2	歌唱「帰れソレント」	・歌詞の内容を理解して、曲にふさわしい表現を工夫する。	・歌詞の表す情景や味わいに興味を持ち、曲にふさわしい表現について考え表現する。
	3	器楽：ギター 「中級課題」	・ギターの基本的な奏法を習得する。	・楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解し基礎的な奏法を身に付ける。

### 3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</li> <li>・正しい奏法で演奏することができる。</li> <li>・基本的な発声法で、豊かに声を響かせて歌うことができる。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている8要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</li> <li>・知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱や器楽表現を創意工夫している。</li> <li>・音楽を形づくっている8要素を知覚し、知覚したことを感じて、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</li> <li>・楽曲の時代背景やその特徴をとらえ、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって鑑賞している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽、音楽文化に興味をもち、主体的、協働的に表現する活動に取り組んでいる。</li> <li>・主体的、協働的に音楽を鑑賞し、学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・提出物</li> <li>・授業プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>

#### 4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・教科書2冊、ニューコーラスフレンズ、ファイル、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、筆記用具の忘れ物をしない。（すべてバッグに入れてロッカーに置いておく。）
- ・積極的に授業を受け、授業中に私語をしない。
- ・課題に前向きに取り組む。

#### 5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・歌唱、合唱曲については歌詞を読み、歌詞の理解を深める。
- ・鑑賞した楽曲などは背景や特徴について調べ学習をする。
- ・ワークシートや教科書を使って復習をする。

#### 6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・授業で配布されたプリントを覚える。
- ・歌詞や作詞作曲者、音楽用語などの基本的事項を覚える。
- ・音楽を形づくっている8要素について理解をして覚える。

#### 7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・歌うことが苦手、リコーダーが苦手など、苦手意識をもっている人は、失敗や間違いを恐れずに何度も練習しましょう。できないことを隠すのではなく、積極的に授業で質問してください。どこでつまづいているのか分かれば、アドバイスすることもできます。
- ・上手な人の近くで練習するのも良い方法です。
- ・苦手な人ほど積極的に前向きに授業に取り組みましょう。